

はじめに

新たな防災行政について様々な提案をしました!

皆さんこんにちは、6月定例議会が7月1日で閉幕しました。6月議会では、3.11東日本大震災や福島第一原発による本市への影響や、被災地支援などについて多くの議論が交わされました。また、さいたま市内での放射線量測定や安心・安全の街づくりなどについても同様に議論が展開されました。私も、総合政策委員会や予算委員会において、もしも首都圏直下型地震が襲ってきたらとの想定と、3人の子を持つ親の視点で放射線量の測定をはじめ、多数の問題について質問をさせていただきました。



その中で、新たな防災行政におけるさいたま市の問題点や課題点を浮き彫りにすることができました。また、携帯電話の使用や情報が制限される場所での（例えば病院やコンサート会場または地下や公共施設内において）緊急地震速報システム導入の提案もさせていただきました。更には震災以降、多くの市民から「防災無線が聞こえない」との要望を受けて、防災無線の難聴地区解消にむけ本市の姿勢を問い質問しました。

市民の声を市政に反映!

■総合政策委員会

防災行政について以下の点について質問しました。

1. 防災行政について

- (1) 防災無線の難聴地区解消について
- (2) 公共施設への緊急地震速報システムの設置について
- (3) 放射線測定を受けての情報発信について

2. 行財政改革について

- (1) 庁舎管理における節電について（LED化の推進について）
- 3. 区役所行政の充実について
- (1) 暮らし応援室の充実について

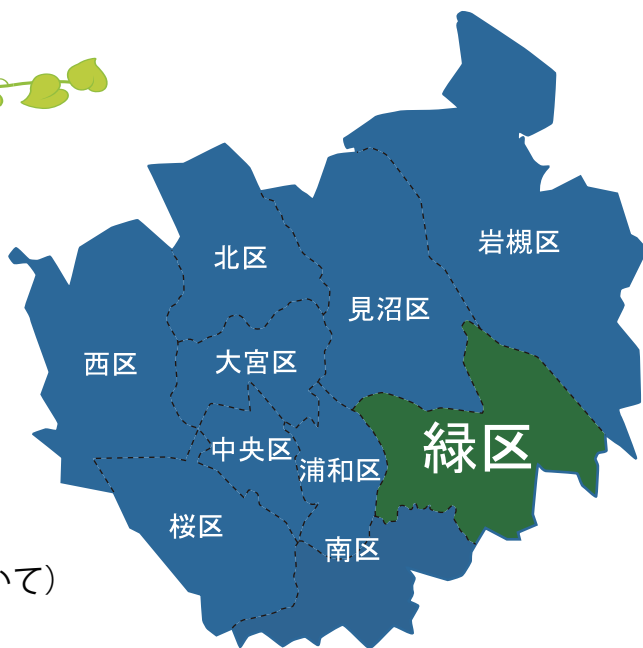
■総合政策委員会

所管事務調査では「選挙管理委員会における公正な選挙の推進に向けた取り組みについて」

- (1) 選挙直前における広報物について
- (2) 看板等の管理とコンプライアンスについて

■予算委員会

- (1) 移動系防災行政無線のデジタル化再構築整備について



さいたま市では6月21日より放射線量等に関する不安を解消するため、大気中の放射線量及びプールの水質の測定を実施しています。測定結果は、市ホームページにて公表されています。なお、測定結果については学識経験者からのコメントもあわせて掲載をされています。